

私らしく地域で働く★就労・起業相談会

ワーカーズ・コレクティブ夏祭り

2024年7月21日(日)14:00~16:30

会場:練馬区立・産業プラザ

Coconeriホール(練馬区練馬1-17-1)

アクセス:西武池袋線「練馬駅」下車3分

ワーカーズ・コレクティブや協同労働の事業所が集まります。お弁当配食、お掃除、在宅介護サービス、パン屋etc *参加費無料

第1部 若者たちの起業の話の間こう

アーバンズ合同会社・ハッピーエナジー株式会社

第2部 大交流会 ブースを巡っておしゃべりしよう!

就業・就労相談会・物販
イベント・体験(介護何でも相談、SDGs紙芝居)
お休み処イトイン

《お問い合わせ》

東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合

TEL:03-3207-1941

学習会

株式会社御用聞きの実践

2024年9月7日(土)14:00~16:00

講師:代表取締役 古市盛久さん

会場:生活クラブ館+オンライン

アクセス:小田急線経堂駅徒歩3分

少子高齢社会で人々の孤立化がすすむ中、地域のちょっとした困りごと=「御用」に5分100円で対応している株式会社御用聞き。会話を大切にしながら福祉、商業、行政など様々な分野と生活者を繋ぐハブとなり、生活に欠かせないインフラとして展開することを目指しています。

詳細、お申込みはこちらをご参照ください。➔



《お問い合わせ》

生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合

TEL:03-5426-5207



インクルファンド・サポーター登録のお願い

インクルファンドでは、いただいたご寄付をもとに、多世代の居場所づくり、子育て支援、障がい者(児)支援事業など、組合員が参加する地域の様々な事業や活動を支援しています。2013~2023年度まで45件の事業・活動に3,737万円を助成しました。助成の財源となるのは皆さまからのご寄付です。寄付という意味あるお金を有効活用し、地域に必要なしくみをつくることを支援します。

*毎月1口300円の寄附を継続します。

すでに登録されている方が申込みされると6月分の請求が重複してしまうのでご注意ください。
班・個別配送の方は注文用紙に右記6桁の注文番号と申込口数をご記入ください。

登録寄付 1口300円(毎月)	
申込期間	5/27(月)~5/31(金)
注文番号	100978
集金月	2024年6月から毎月

生活クラブのインターネット注文



インターネット注文 eくらぶからもお申込みいただけます。(6月1回)



↑こちらから登録フォームへアクセスできます

◆デポーター組合員の方は

WEBサイト <https://www.inclusive-gr.com/supporter/> からサポーター登録ができます。またはお電話でご連絡ください。

ご連絡先/TEL:03-5426-5207

(生活クラブ東京たすけあいネットワーク事業部内)

生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合 事務局・平岡

インクルーシブ通信

2024年6月
VOL. 48



発行:生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合 発行責任者:小寺浩子 <https://inclusive-gr.com/>

インクルーシブ事業連合 2023年度の主な活動

◆市民版地域福祉計画づくりと実行支援

今年度は新たに板橋区地域協議会で市民版地域福祉計画が策定され、世田谷地域協議会と江戸川地域協議会で計画が更新されました。策定済みの地域は21地域、策定中または予定のある地域は6地域となっています(3月末現在)。北東京まちづくり委員会と武蔵野地域協議会では出前講座を行い、先行事例を共有しました。

《安心ネットワーク構想連絡会》 2024年2月

21地域協議会が参加し、稲城、国分寺、小平の策定と実行に関する活動を共有し、参加した各地域の活動状況を共有しました。

《福祉ツアー》 2023年7月

楽しい、カッコいい、自分たちが行きたい場をつくる~NPO法人シニアライフセラピー研究所(藤沢市)の地域づくり~として福祉コミュニティカフェ 亀吉・パン工房亀吉(就労継続支援B型事業所、就労移行支援事業)・カルチャースクール亀吉(地域密着型・共生型デイサービス)を見学しました。

《子育て支援フォーラム》 2024年2月

「地域を育む『優しい間』と市民性」を実施し27人が参加しました。(中面に報告あり)

◆共に働く場づくりの推進

働きづらさを抱える人と共に働く事業所への寄付を募集し(一社)共に働くワーカーズえんこらしょ、NPO法人こすもす、NP法人エコメッセが寄付を募集し480人から392,500円が集まりました。

《報告会「共に働く場を増やそう」》 2023年11月

NPO法人わくわく館理事の若畑省二さんよりコミュニティカフェとリサイクルセンターを組み合わせ「しげんカフェ」の取り組み等についてお話しいただき、昨年度事業所指定寄付を募集したNPO法人エコメッセ代表の大嶽貴恵さんが活動報告を行いました。

◆介護保険プロジェクト

2023年9月、社会学者の上野千鶴子さんを講師に、学習会「どうなる?どうする?介護保険!」を開催し188人が参加しました。また、11月には2024年度の制度改定と報酬改定に向けて厚労省への要望書を提出しました。

インクルーシブ事業連合 2024年度総会

2024年6月29日(土)14:00~16:10

会場:生活クラブ館+オンライン

基調講演 14:05~14:50

講師:齋 典道さん

認定NPO法人PIECES 事務局長兼ソーシャルワーカー

*終了後、議案審査を行います。

インクルーシブ通信VOL.47に掲載した次の記事につきまして誤りがありました。

(誤) お弁当のモモ(国分寺市)
(正) お弁当のモモ(小平市)
ご迷惑をおかけしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

【インクルーシブ事業連合構成団体】生活クラブ生協・東京/NPO法人アビリティクラブたすけあい(ACT)/ACTたすけあいワーカーズ・コレクティブ連合/NPO法人ACT人とまちづくり/社会福祉法人悠遊/東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合/東京・生活者ネットワーク/東京CPB(コミュニティパワーバンク)/認定NPO法人市民シンクタンクひと・まち社/NPO法人まちぼっと/環境まちづくりNPOエコメッセ

地域を育む「優しい間」と市民性

2024年2月10日、認定NPO法人PIECES 理事・事務局長兼ソーシャルワーカーの齋典道さん（写真）を講師にフォーラムを開催しました。PIECESは、ちょっとした困りごとがあった時、気軽に頼って相談できる市民が子どもの周りに存在することを目指し、子どもの孤立が深まる前に、地域の中で子どもを見守り、子どもに寄り添う市民を増やすためのプログラム「Citizenship for Children (CforC)」を実施しています。

子どもを取り巻く「孤立」の現状

こども家庭庁の「子供・若者インデックスボード ver.4.0」によれば、困ったときに「どこにも相談できる人がいない」21.8%、「どこにも助けしてくれる人がいない」11.3%、「どこにも居場所がない」5.4%と、困ったときに頼ったり助けてもらえる環境が希薄であることがわかりました。また、「支援機関を利用しようと思わない」が69.7%に上り、支援者を頼りたいと思う子どもばかりではないこともわかりました。

「少しずつみんなで」「小さく自分の手元から」

支援者が大事な存在であることは間違いないが、子どもたちからしたら必ずしもそうではなく、日常の中での関わりや眼差しの方が大事な子たちもいる。そこで市民性を発揮したアクションが大事になるが、スーパーマンのような市民が子どもたちを助けるというのではなく、みんなが少しずつ日常の中で自分の想像できる範囲や関われる範囲を広げたり、自分でできるところから始めてみる感覚がとて

も大事で、公的な様々な制度が人の生活を支えているのは間違いないが、誰かがやってくれるという世界観だと、今、目の前で困っている人が救われない、と齋さん。専門家だけではなく、私たち一人ひとりが優しい間をつむぐ市民性を発揮していくことで、子どもの心の傷が身近な関係性の中でケアされ、子どもの孤立は解消されていくと考えています。

一人ひとりが優しい間をつむぐ

デンマークのコペンハーゲンで暮らしていた時、ベビーカーに赤ちゃんを乗せたお母さんが通勤ラッシュのバスに乗れず困っているのに気付いた乗客数人が、自分たちは次で行くからいいよと降り、次のバスを待っていた。子ども連れでこの時間にいることが否定されず受け入れられており、日常の中での市民の眼差しに違いを感じたというお話、政治の話も日常の中で気軽に交わされるというお話が印象的でした。無関心になるのではなく、互いに少しずつ気かけあう市民性を醸成しケアしあうことが誰もが生きやすいまちをつくることにつながると感じました。

にじっ子サポーターズ（目黒区）

にじっ子サポーターズは、不登校や発達障害など、子育てに困り感のある子どもの家族や支援者がつながり合っ思いや悩みを語り合い、居場所づくりの活動をしています。月に一度のお話会「にじカフェ」-話す・聴く-を活動当初から続けています。子育てのこと、発達のこと、不登校のこと、学校のこと、不安なこと、質問したいこと、何でも自由に話しています。にじカフェで対話したことから、「あったらいいな!」「必要だね!」「やってみようか!」と自発的に活動が立ち上がり、活動内容も参加者も広がっています。～活動の一部を紹介します。～

【にじっ子コモカフェ～子ども同士のつながりを】子どものためのコミュニティ。グループ LINE でやりとりしたり、にじカフェやイベントで、子どもが自然に集まったりすれば、そこが「コモカフェ」。目的も決まりもない自由な居場所。

【たいらなおひる～児童館を居場所に】昼間の児童館を、学校に行っていない子どもたちの居心地いい居場所に!

【にじっ子サポーターズグループ LINE～つながって情報を得る】不登校や発達障害に関する情報、目黒区の関連イベントなどをお届け。見るだけでも OK。まずはつながるところから。

【土いじりの会～土にふれる】土の感触を味わい、植物や生き物に触れることで、子どもも大人もリラックス&リセット

【Cafe にじのえんがわ～まちを居場所に】街角に子どもがふらっと立ち寄れる場所を作り、地域ぐるみで子育てを。自由で、安心して、いろいろな人と出会える、学校でも家でもない第三の居場所をあちこちに作りたい。

【にじっ子ライブ～ライブを楽しむ】街角に置いてあるピア



にじっ子遠足・アウトドア



にじっ子ライブ

ノミみたいに、だれかれともなく、弾きたい人が出てきて弾く、歌いたい人が歌う、超自由なライブ。得意な楽器を持ってきて OK!自分の好きを披露するライブ。小さな舞台上で思い思いに何かを披露。とてもあったかい空間。【にじっ子遠足・アウトドア～お出かけを楽しむ】時には、気ままに無理なく、家族ぐるみのお出かけ交流を企画。【イベント「遊びのレストラン&音楽ワークショップ」～工作や遊びを楽しむ】楽しいイベントを不定期で単発開催。工作、遊び、ゲーム、など、できるだけルールの少ない、とことん遊べる空間づくりをしています。

【相談カフェ～知恵を出し合う・助け合う】「就学先の選択肢を知りたい!」「支援児の学校生活ってどんな感じ?」「学校での合理的配慮の事例を知りたい!」「おすすめの手帳サービスは?」などピンポイントで知りたいことがあったら言ってみてください。誰かが情報をくれるかも。そんなつなぎ役もやっています。

【にじっ子支援員～支援員がつながる】特性のある子どもや、支援を必要とする子どもを学校でサポートする仕事「支援員」。実は子どもたちを思えば思うほど葛藤の日々なのです。支援員同士つながって、悩みや疑問を分かち合い、励まし合ひましょう。

これらの活動を継続する中で「町を歩いていると声をかけられるようになりました。」「子どもが安心できる居場所ができました。」「悩みを安心して話せる場ができました。」と嬉しい声も届いてきています。

子どものことで孤独に悩んでいませんか?語り合い、学び合い、励まし合いませんか?子どもたち一人ひとりが自分自身の色で輝けるよう活動を続けていきます。

にじっ子サポーターズ代表 小園 桂

まちの人が共有するおうち ワークスペースさきちゃんち（文京区）

子育て支援フォーラムの会場となった「ワークスペースさきちゃんち」は、地域との緩やかな繋がりを持つことができる場所、どの世代の方も集って楽しんでほっとできるような居場所を目指して運営されています。



「ワークスペースさきちゃんち」について運営委員会の八木さん、亀山さんにお話を伺いました。

コンセプトは、お友達の家に行く感覚で行ける場所、まちの人が共有するおうち。子どもたちがまちの人に見守られながら、作る・食べる・遊ぶ・学ぶ・くつろぐ場として活動されています。

2015年から無償で借り受けた場所で活動していましたが、2020年に建て替えを機に移動することになりました。同時期に国の地域子育て支援拠点事業（0から2歳の親子向けの広場事業）を受託し、徒歩1分の場所に「さきちゃんち petit」を開設、

「ワークスペースさきちゃんち」はその事務スペースとして合わせて借りる形とし、地域の人、学生の力も借りながらDIYで内装を整え、2021年にオープンしました。運営はすべてボランティアで行い、文京区の社協が助成するサロン事業や共同事業にも参画され、ギャラリーやチャリティバザーでの収入、地域の企業やNPO団体の協力も運営を支えています。

何か特別なことをするのではなく、毎日の日常がここにあるという状態を作り、多世代の方が緩やかに繋がる場所にしていくことで、社会的孤立を予防することを目指しています。



にじっ子マルシェ



にじカフェ

2023年度第2回 インクルファンド助成選考結果

～今回は1件の審査を行いました。～

団体名:企業組合ワーカーズ・コレクティブ鞆あい(町田市)

企画名:共に働く事業所「はちどり」設立

(市民版地域福祉計画に基づく事業の立上げ)

◆働きづらさを抱える人と共に働く事業所として、家の片づけ、リユースショップの運営、寄り添いサポート(片づけから派生する諸サービス:粗大ゴミ運び出し、家具の移動、草むしり、お墓掃除など)を行う事業を立ち上げます。

UR団地内の商店街の空き店舗を活用するための改修費用として300万円の助成を決定しました。

◆2023年度は3件に対して計340万円の助成を行い、

2013年度からの助成累計額は45件・3,737万円になりました。



プレゼンテーションの様子